

平成30年度 公の施設目標管理型評価書【新潟市會津八一記念館】

施設名	新潟市會津八一記念館		
管理者名	公益財団法人會津八一記念館	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
新潟市主管課	新潟市文化スポーツ部文化政策課		
所在地	区名	中央区	住所 万代3丁目1番1号 新潟日報メディアシップ5階
根拠法令	-		
設置条例	新潟市會津八一記念館条例		
施設概要	設置：昭和50年4月（平成10年市へ寄贈）（平成26年8月1日 移転） 施設規模：鉄筋コンクリート，428.388㎡ 施設内容：展示室、応接室、会議室、事務室、ライブラリー、収蔵庫 料金区分：大人500円，大学生300円，高校生200円，中・小学生100円（特別展を除く）		

**施設設置目的**  
會津八一の作品、遺品等を収集し、保管し、及び展示することにより、會津八一の業績を顕彰するとともに、市民文化の向上に資するため

**管理・運営に関する基本理念、方針等**  
會津八一の遺墨・遺品・著書をはじめ會津八一に関する資料を調査研究し、文学・芸術など学芸に残した業績を伝え、広く後学の研究と鑑賞に供し、郷土新潟の文化振興とともに、わが国の教育・学術の興隆に寄与する（公益財団法人會津八一記念館定款第3条より抜粋）

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	1 基準利用者数の達成	入場者数年間7,500人以上	7,845人	A	昨年度に比べ大幅に増加しており、評価できる。
	2 広報の充実	ホームページアクセス件数年間2万件以上	21,831件	A	
	3 各種サービス別満足度	展示に対する感想「よかった」以上が80%以上	93%	A	目標を大きく上回り評価できる。
		接客に対する満足度で「普通」以上を80%以上	96%	A	目標を大きく上回り評価できる。
	4 苦情・要望に対する対応	苦情、要望には速やかに対応	解説文の位置を見やすくし、エレベーターの止まる時間の始まりを繰り上げた。また商品購入者限定だが、駐車料金のサービスを導入	A	
	5 設置目的に合致したサービス提供	文芸講演会の実施件数を年4回以上	7回	A	目標を大きく上回り評価できる。
アウトリーチ活動の実施件数を年2回以上		8回	A	目標を大きく上回り評価できる。	
6 その他	入館者に占める県外者比率が20%以上	17%	C	県外比率増に向けて、工夫をしてもらいたい。	
財務	1 経費の節減	指定管理料を年度協定額及び交付決定額以下に抑える	抑えている。	A	
	2 市の歳入の増加	観覧料収入を年間2,600千円以上	2,567千円	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
業務	1 業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守	おおむね順守している。	B	
	2 安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	防火管理者を事務長とし、非常時の連絡優先順序を消防当局およびビル管理部門(メディアシップ管理運営センター)に届けている	B	
	3 事件・事故発生時の対応の適切さ	AEDの使用法の周知徹底及び消防訓練等の実施	AEDを点検し、使用方法を理解。消防避難訓練は年2回、入居ビルの訓練に参加している	B	
	4 日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	提出している	B	
	5 事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	提出している(ただし、決算役員会は5月)	B	
	6 改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する	速やかに対応または対応するようにしている	B	
	7 運営方針、事業目標の位置づけ	自館の設置目的、基本的使命が、運営の指針となっているか	目的使命に沿って日常の運営に当たっている。	B	
	8 運営方針、事業目標の市民への公開	運営方針及び事業目標をホームページ等で市民へ公開しているか	公開している。	B	
	9 運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無	事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業改善に役立っているか	役立っている。	B	
	10 運営方針を実現するための経営戦略の有無	市と定期的なミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか	定期的には行っていないが、その都度相談し運営に当たっている。	B	
	11 個人情報保護に関する実施の有無	実施していること	名簿等のデータは持ちだすことはせず、用済みの応募はがきは即シュレッダー。	B	
	12 当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	研修会という形では実施していないが、管理全般(設置、内部設備の補修・更新・新設等)について、ビルの管理部門(市とも連絡体制あり)の指導のもと、法令に基づき、法令上問題の発生しないようその都度対処している。	B	

	13	守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	該当する事実・実態はない	B	
人 材	1	専門性の高い人材の配置, 育成	学芸員を常時1人以上配置すると共に専門性に優れた育成を行うこと	専門性向上については、年4回の展示がその格好の場となっている。つまりテーマに沿った材料をそろえる作業(当該テーマに関わる専門家との折衝、展示内容の研究、原稿執筆)が新たな知識の蓄積・能力向上に結び付く。学芸員がどうしてもやむを得ず欠ける場合がある。	B	
	2	職員のスキルとモチベーションの向上	積極的に職員研修を実施し、スキルの向上に努めているか	自館の日程等を考慮しながら、県内外の研修会等へ出席。また専門誌に論文を書いたり展示ごとに新聞原稿を書いたりして書く力を養っている。外での講演会は発表能力や専門分野における知識や能力の向上の場ととらえ積極的に対応	A	積極的な研修等の参加により、職員のスキル向上に努めている点が評価できる。
	3	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	当てはまる事実はない	B	

総 合 評 価 ( 所 見 )						
<p>入館者数、満足度については目標を上回っており、評価できる。  また文芸講演会やアウトリーチ活動を数多く行っている点についても、評価できる。  観覧料収入と、来館者に占める県外者比率が目標に達しなかったため、改善に努めてほしい。</p>						

評価水準

- A 要求水準=(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準=(評価指標)が達成されている。
- C 要求水準=(評価指標)が達成されていない。